

更新

事業者名	株式会社 八方建設
------	-----------

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

太陽光発電や蓄電池の普及・促進において、これまで200件以上の設置実績を残してきました。地球温暖化問題が議論される中、国内においても再生エネルギーへの転換が注目されています。事業活動を通じて、グローバルベースで環境、社会、経済に寄与していくことを目指します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	【気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る】 紛争や災害によって、心身ともに傷つき、教育を受けられず、様々な困難に直面する子供たちの権利を守るための活動支援への協賛。	地域団体・日本ユニセフ協会等を通じて 年1回(寄付)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	【餓死をゼロに】 県内・同市のフードロス活動。 子ども食堂などの支援団体への協賛。	フードロス活動(年1回) 子ども食堂(年3カ所)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	【全ての人々に水と衛生へのアクセスを確保する】 安全な水・衛生的な環境(トイレ)・衛生習慣(手洗い)を、普及に繋がる活動団体への協賛。	ウォーターエイド・日本ユニセフ協会などを通じて 年1回(寄付)

<パートナーシップ>

【活動内容に共感し支援を行っています】
日本赤十字社、公益財団法人 日本ユニセフ協会、社会福祉法人 南苑会、一般社団法人 ひのくにスマイルプロジェクト
【フードロス活動に協賛しています】 熊本県消費生活課

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ペーパーレス化を心掛け紙の資料保管を電子化し、保存・運用に社内全体で取り組んでいます。(紙は、必要最低限に抑え再生紙を使用しています。) 日本ユニセフ(自然災害緊急募金)への寄付。 ・海洋ごみに由来する商品の購入 ・再生紙を使用	コピー用紙等の使用量率 2020年120,000枚→ 2023年114,000枚 (5%削減) 再生紙を使用することで、 環境問題への貢献へつながる。	使用量率 電子化への移行で、目標達成 (勤怠管理システムの導入)(社内クラウド サイボウズを使用)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	フードロスへの取り組みの一環として、フードドライブへの参加、フードバンク熊本・ふじとみふれあい食堂への協賛、菊池市子ども食堂(3カ所)への支援、日本赤十字活動への寄付。 ・フードロスを削減する。	フードバンク等へ寄付する回数 2020年実績→2023年 6件 毎年2件	・年4カ所への子供食堂への寄付(3年/12回) ・県主催のフードドライブへの協賛(年1回/2回) など
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	日本ユニセフ協会を通じて、開発途上国の子供達に安全な水と清潔なトイレを提供する活動への支援を行っています。 ◎安全な飲み水の確保 ◎手洗いなどの衛生習慣の拡大と屋外排泄根絶 ◎学校や医療施設における手洗い場やトイレの改善 ・開発途上国内の持続可能な成長の促進を支援する。	ウォーターエイド等を通じて 開発途上国の家庭用トイレを設置する 2020年実績→2023年 6基設置する	日本ユニセフ協会を通じ (マダガスカル水と衛生)への募金 当社個人で現地へ行っての家庭用トイレの設置は、実状的に難しかったので、日本ユニセフ協会の理念に共感し、トイレ6基に該当する支援を致しました。

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。